



結いの油井

校訓 つよく《根性》 正しく《自立》 やさしく《礼儀》 助け合う《協働》

令和4年度が始まり2月が経ちます。新しいスタッフと8人の子どもで教育活動を進めているところです。

5月23日から、中学生は、一大イベントである「修学旅行」に行っていました(末尾にスナップ写真を少し掲載していますので御覧下さい)。3日間においては、壮大な熊本城を前に…、戦争と平和を深く考えて…、国の史実を探って…、大いに遊具で遊んで…、様々な「感動」に包まれたことでしょう。

学校内でも、毎日のように心を躍らせている子どもたちの様子を見ることができます。



小学1年生と3年生が夢中になっているのが「カエルなどの生き物とのふれあい」です。毎日、昼休みなどの成果を、目を輝かせながら教えてくれます。「きょうはね、しっぽと足の付いたオタマジャクシ!」という具合に。

修学旅行で直視した事実や、自然界の普遍的な事象など、「本物」と出合ったとき、子どもたちが見せる表情はたまたま素敵です。そういう表情が我々学校職員を更に奮い立たせてくれます。



ネット上の動画もいいけれど、自分の五感で感じ取ったことには何事にも代え難い価値があるのではないかと思います。例えば、「夏のにわか雨の後の匂い」です。日に焼けたアスファルトにたたき付ける雨がたぎって水蒸気になった時の匂いです。私は、その匂いを感じると、雨宿りをしながら友と雨が止むのを待った少年時代をなぜか思い出すのです。少年時代には、とかく触れる物や初めて体験することに心を躍らせていました。眼をガバツと見開きながら…。感動と成長が隣り合わせにあった、そんな思い出です。

皆様も少し思い起こしてみてください。何かしらの感覚が今もなお働く事柄がないでしょうか。

子どもたちの成長にはたくさんの要素が必要ですが、この時期でしか味わえない「感動」をたくさん味わってほしいと思います。成長とともに感動する対象物も変わっていくことでしょう。その変化が成長の証でもあります。そのように考えると、やはり、動画の世界よりも**実体験**で心を躍らせてほしいと思います。

これから、油井の自然は、子どもたちにたくさんの感動をもたらしてくれることでしょう。教科書等の学びのみならず、子どもたちの目線でともに心を躍らせる教育活動に勤しみたいと思います。

校長 川畑 真英

◇ 感動の場面

【用心棒作り】



各集落において、用心棒作りに取り組みましたと思います。そもそも、棒の切り出しから色付け、配布までの一連の流れを体験できてそりゃあもう「なるほど!」と合点がいきました。要所に置かれている棒は、各自で置くのか、交換時期はいつなのかなど納得です。

特に、最後に集落内に置いて回りましたが、これぞ「結い」なのだと感じました。実際のところ、用心棒を使いたくないですが、経験値を上げるためには…。

【ルリカケスを見た】



【油井公園に咲く花】



見にくいのですが、ルリカケスが数羽いました。初めて実物を見ました。思ったより大きいなと思いました。他にもヤモリや美しい花々にも感動です。

◇ 学校の一コマ

	<p>中学生の音楽の授業の一コマです。 三味線で「いきゆんな加那」の練習をしています。 さすが、奄美っ子！様になっています。</p>		<p>全校朝会の一コマです。 教頭先生から2人の1年生が入学以降しっかりした態度で学習を続けていることが紹介され、みんなで讃え合いました。</p>
	<p>みんなで遊ぶ昼休みの一コマです。 小中学生が一堂に時間を共有する場です。 油井小中ならではの光景です。</p>		<p>教育長学校訪問の一コマです。 授業を通して、学校の雰囲気や様子を観ていただきました。課題等は、がんばって改善してまいります。</p>

〔6月の行事〕

日	曜	行 事 等
1	水	集团宿泊学習(5年生:2日まで)
5	日	奄美教育フェス(町家庭教育研修会)
6	月	歯と口の健康教室
8	水	※ ALT来校日
10	金	食に関する学習
11	土	土曜授業・水泳学習(古仁屋小プール)
13	月	家庭学習強調週間(～19日まで)
14	火	かけはし号来校(10:20～10:50)
15	水	自転車安全指導 ※ ALT来校日
16	木	水泳学習(古仁屋小プール)
17	金	B校時 総務委員会
21	火	期末テスト(中)～23日(木)まで
24	金	第1回集合学習(中)
26	日	町ヨット教室(阿鉄)
28	火	かけはし号来校(10:20～10:50)

＜家庭学習強調週間＞
中学生は、翌週には期末テストがあります。小学生もこの週間を通して、家庭学習にしっかり取り組んでいるか、再度、確かめてほしいと思います。
決まった時間に、適切な時間を確保して進められているか、集中してできているか振り返りながら家庭学習の充実を図りましょう。
確かな学びは日々の積み重ねです。この積み重ねを軽く考えてはなりません！

＜令和4年度 修学旅行～思い出と学びを刻んで～＞

